

新型コロナウイルス感染症予防接種について

1. 新型コロナワクチンについて

令和6年度より、新型コロナウイルス感染症は予防接種法のB類疾病に位置付けられ、主に個人予防目的のために行います。ワクチン接種には、発症予防や重症化（入院）予防の効果があることが国内外の複数で報告が確認されています。なお、既感染者であっても再感染する可能性はあり、また、ワクチン接種による追加の発症予防効果が得られることも確認されています。さらに、いずれの年齢群においても、重症化（入院）予防効果は発症予防効果より高いことが確認されています。

2. 接種上の注意と副反応

筋肉注射です。新型コロナワクチンは他のワクチンと接種間隔の規定をおかず、同時接種も医師が必要と認めた場合は行うことができます。

接種後の接種部位の痛みや倦怠感、頭痛、発熱等、様々な症状が確認されていますが、そのほとんどが軽度又は中等度であり、現時点では安全性に重大な懸念は認められていないと判断されています。また、国内において重篤な副反応としてアナフィラキシーが報告されており、接種後30分はその場で健康観察すること並びに接種後数日の間に胸痛、息切れ、ぐったりするなどの症状があった場合には医療機関の受診が必要です。

3. 次の方は、接種を受けないでください

- 1) 明らかに発熱している方（通常は37.5度をこえる場合）
- 2) 重篤な急性疾患にかかっている方
- 3) 本剤の成分により、アナフィラキシー（全身性の皮膚・粘膜症状、喘息、呼吸困難、頻脈、血圧低下等）を起こしたことがある方
- 4) その他、いつも診てもらっている医師にワクチンは受けない方がいいといわれた方

4. 次の方は接種前に医師に相談してください

- 1) 心臓血管系疾患、腎臓疾患、肝臓疾患および血液疾患などの基礎疾患のある方
- 2) 予防接種で接種後2日以内に発熱の見られた方及び全身発疹等のアレルギーを疑う症状を呈したことがある方
- 3) 過去にけいれん（ひきつけ）の既往歴のある方
- 4) 過去に免疫状態の異常を指摘されたことのある方もしくは、近親者に先天性免疫不全症の者がいる方
- 5) 接種しようとする接種液の成分に対してアレルギーを呈するおそれのある方
- 6) 抗凝固療法を受けている方、血小板減少又は凝固障害を有する方

5. 接種後は以下の点に注意してください

- 1) 接種後に接種部位が赤くはれたり痛む場合がありますが、通常数日以内に軽快します。なお体調に変化があれば速やかに医師の診察を受けてください。
- 2) 接種後の入浴は問題ありませんが、注射部位をこすることはやめましょう。
- 3) 接種当日はいつも通りの生活をしてください。但し、接種後は接種部位を清潔に保ち、接種当日は激しい運動や大量の飲酒は避けてください。